

■質問

ねじれ補正は一連の計算で、処理されているのでしょうか。

■回答

ASCAL では立体解析を採用しており、各層ごとに剛性のばらつきを考慮した計算をしています。よってねじれを考慮した結果となっており、ねじれ補正をする必要はありません。

下図のように、偏心率が大きい建物の場合、各通りの変位(UX・UY)が異なりねじれを考慮していることが確認できます。

※ UX・UY は計算書を出力させて、§ 6 応力解析・節点変位表を 参照して下さい。

